

可燃ゴミ20%削減計画

環境審議会で検討



山本 恭久 議員
(済々会)

平成31年3月に、東部
知多衛生組合（大府市・
豊明市・東浦町・阿久比
町）の新たな焼却処理施
設が完成する。

その焼却炉の最大処理
能力は200t/日で、
これまでの240t/日
から約20%下がる。

ゆえに、構成市町では、
可燃ゴミ20%の減量化が
必須課題となっている。

問 1人1日あたりの家
庭系ゴミ排出量。過去3
年間の推移。

答 平成25年度 751g
平成26年度 720g
平成27年度 713g

問 ゴミ処理費用の実態。

答 平成27年度の家庭系
ゴミ排出量は、7349
tで、その処理費用は、
2億7340万9千円。

問 今後の計画や取り組
みを推進するうえで、
「町民」と「行政」がそ
れぞれ果たす役割。

答 町民の役割は、可燃
ゴミから、廃プラスチック
類などの資源ゴミを徹

底して分類すること。
レジ袋の辞退や過剰包
装をやめること。

その他、食べ残しを減
らす工夫。食材の計画的
購入や有効利用など。

事業者の役割は、店舗
のゴミは家庭ゴミと区別
し、事業所ゴミとして、
専門業者にて処分するこ
と。

行政の役割は、ゴミ処
理の現状や、ゴミ減量化
の必要性などのPR。資
源ゴミ回収の支援。生ゴ
ミ堆肥化への補助。ゴミ
減量化に向けた新たな取
り組みなど、様々な施策
の実施。



20%削減はスタートライン

問

現状の課題と解決策。
①PR不足。②事業

者の事業ゴミに対する意
識。

③ゴミ減量化に対する意
識の温度差。

「町民」「事業者」「行
政」が役割を認識し、そ
れぞれが行動することが
重要。

町では、環境審議会を
立ち上げ、ゴミの減量化
について検討する。

問 削減効果の予想金額
とその使途。

答 金銭的な削減効果は
見込めないが、20%削減
できない場合は、負担金
が増額される。

新たな施策の実施や、
少量のゴミ袋を新規に製
作するなど、ゴミ減量化
のための費用とする。

問 啓発手段。

答 広報やホームページ、
電光掲示板で町民への周
知を図る。

また、行政協力委員会、
議会、環境審議会などで、
減量化施策について意見
を聞く。

パブリックコメントな
どを利用して、広く町民
に情報提供していく。

計画道路（板山・宮津線） と関連町道の整備

地元との調整を図る

問 計画道路（板山・宮
津線）の実現に向けた計
画。

答 陽なたの丘地区より
南側は、宮津地区土地改
良事業と調整を図り、計
画を進める。

北側の主要地方道であ
る西尾・知多線までは、
地形上難しく、起点位置
を含めた路線計画につい
て、地元と調整していく。

問 町道2115号線併
設の水路を一部暗渠化と
する整備事業への見解。

答 道路の拡幅ができ、
車のすれ違い等など交通
安全対策として有効な事
業と考え、検討を進める。



暗渠化が切望される水路
(町道2115号線の危険箇所)

現在、トラロープで応急対応するも、幅員
狭く、恒久的な安全対策を要す